

# 思い出胸に学び舎を築立つ

平成19年度森吉中学校卒業式

市立中学校5校の卒業式が3月8日に行われました。各校では、恩師から祝福を受けたり、思い出の詰まった学び舎を去る寂しさに涙を流したり、さまざまな光景が見られました。このうち、森吉中学校では、卒業証書授与式の後、在校生や教職員が校門前に並んで卒業生の門出を祝いました。卒業生は、手紙の交換や握手をして、中学校生活を振り返りながら、笑顔で学び舎を築立ちました。



広報 [No.73]

# きたあきた



[1日.16日 月2回発行]

2008年

# 3月定例議会 行政報告 (2)

平成20年3月定例議会は、2月28日に開会し3月21日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また11日、12日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、最終日に採決が行われ、1専決承認案件、88議案が原案どおり可決され、また2人事案件が同意されました。前号に続き3月定例議会の行政報告をお知らせします。

## 建設部・水道課関係

### ■都市計画課

都市計画街路事業・太田川口線(二町工区)の整備は、引き続き事業用地の取得、物件補償契約に向けた交渉を進めており、2月20日現在の進捗率は、件数比53%、金額比78%となっています。

国土交通省・能代河川国道事務所において施工中の、鷹巣大館道路(日沿道)に係る米地内の工事用道路(市道摩当李岱線、上大沢線改良工事)は、年度内に完成する予定です。

新耐震基準によらない建設年次の古い市営住宅6棟(26戸)の耐震診断業務を、12月下旬に委託しました。

■建設課  
地方道路整備臨時交付金事業の平里橋上部工は12月末に完了、道路工は年度内に完了予定です。また、道路整備交付金事業大野台幹線の改良



▲復旧工事が行なわれる市道李岱川井線

工事は2月末に完了しました。単独事業の七日市松沢線(妹尾館地区)道路改良工事は12月末に完了、小橋三枚線は、2月末に完了しました。

平成19年9月災害の道路、河川及び橋りょうの80箇所査定決定額は4億6488万円で、採択率は87.9%となっています。

復旧工事は、道路14箇所、河川10箇所、橋りょう1箇所の計25箇所を

発注済みですが、さらに、3月中旬に繰越発注する予定です。

### ■下水道課

公共下水道事業における工事の発注状況は、鷹巣処理区は、高野尻地内、前綱地内及び太田新田地内の面整備工事5件、太田屋敷後地内のマンホールポンプ設置工事1件を、阿仁合処理区は、阿仁吉田地内及び阿仁水無地内のマンホールポンプ設置工事1件を、米内沢処理区は、根小屋地内の面整備工事1件を、合川処理区は、川井地内の面整備工事1件をそれぞれ発注しています。

農業集落排水事業における工事の発注状況は、道城地区において管路布設工事1件を発注しています。

先の水害により被災した農業集落排水施設における工事の発注状況は、災害関連農村生活環境施設復旧事業として、木戸石、西、浦田、前田地区の4件を、また、単独災害復旧工事として、三里、増沢、鎌沢、羽根山、上杉、西、浦田、前田地区の計8件をそれぞれ発注しています。

### ■水道課

上水道事業は、鷹巣浄水場耐震診断及び改修設計業務委託が3月下旬の完了予定です。

簡易水道は、鷹巣大堤地区の配水管布設工事と補償工事である、大野台地区配水管移設工事、平里地区配

水管移設工事の計3件を完成しています。また、合川・森吉地区統合簡易水道事業は、高区配水管布設工事を完成しています。

災害復旧事業は、県道桂瀬笹館線の道路災害復旧工事に伴う浦田橋添架管災害復旧工事が、2月中旬の発注で、3月下旬の完成を予定しています。

## 消防本部関係

### ■常備消防

平成19年中の災害概要は、火災が24件発生し、火災種別では建物火災が16件、林野火災、車両火災がそれぞれ1件、その他火災が6件となっています。建物火災では23棟が焼損し、そのうち住宅の全焼が5棟、部分焼5棟、ぼや3棟となっています。損害額は2億7643万5千円で、死者は自損行為による1名、負傷者は4名となっています。

救急出動件数は1282件で、その内訳は、急病883件、一般負傷145件、転院搬送115件、交通事故83件等。救助出動は49件で14名を救助。捜索出動状況は、6件発生し1人が生存発見、自力下山が3名、死亡発見が1名となっています。

秋田県消防広域化推進計画は、12月27日開催の第2回推進懇談会において、現在の13本部を7本部に再編

する県の素案が提示されました。これによると消防本部は、大館市消防本部、鹿角広域組合消防本部の3本部で新たな消防本部を組織することとなります。

■非常備消防  
県は年度内に広域化推進計画の成案をまとめる意向であり、対象市町村は20年度以降に広域消防運営計画を作成し、5年後の平成24年度末までに新体制となる消防本部の実現を目指すこととなります。

1月4日、米内沢地区を会場に、県知事、消防団員、消防関係者およそ700人が参加し、市消防出初め式を行いました。森吉コミュニティセンター前から森吉総合スポーツセンターまでの分列行進に引き続き行われた式典では、永年消防団員として活動された団員、功績のあった団員に表彰状が伝達されました。

## 教育委員会関係

### ■総務課

小学校の再編整備は、前期に統合を計画している竜森小学校と鷹巣南小学校の保護者や地域の皆さんへの意見交換会を行い、平成21年4月1日をもって竜森小学校を鷹巣南小学校へ統合することに合意を得ました。また合川地区4小学校及び浦田小学校についても、保護者や地域の皆さん

への意見交換会を学区ごとに行い、計画の考え方について理解を求めるとともに地域の意見を聴取しました。

### ■義務教育課

平成19年度の市立小・中学校及び幼稚園の卒業(園)予定者は、小学校308人、中学校355人、幼稚園13人で、将来への大きな期待を胸に思い出しに満ちた学舎を巣立ちました。また、平成20年度入学(入園)予定者は小学校248人、中学校297人、幼稚園14人で、4月から新しい希望に満ちた学校(園)生活を迎えます。

### ■高校教育課

平成20年度秋田県公立高等学校入学選抜日程は、前期選抜が1月30日に実施され、面接等により普通科2名、情報ビジネス科2名、介護福祉科7名の計11名が合格しています。また、一般選抜学力検査等実施日は3月5日、後期選抜面接等実施日は3月19日となっています。

### ■生涯学習課

18年度世界遺産暫定リスト入りを申請し、継続審査となっていた伊勢堂遺跡は、当市と北海道・北東北の12市町の15遺跡で構成する「北海道・北東北縄文遺跡群」の名称で、12月19日、文化庁に新たに申請書を提出しました。地区ごとに開講している高齢者大

学は1月29日、文化会館で全市の受講生を対象とした全体公開講座を開催しました。講座には約400人の受講生が一堂に会し、各大学の活動報告、朗読や昔語り、思い出の歌の合唱等を楽しみ交流を深めました。

### ■公民館

平成19年度の各種講座は、市民の要望等を取り入れ幅広く、子どもから高齢者まで受講でき122講座を開講しています。講座の大部分は2月中で終了しますが、鷹巣地区では講座で学んだ成果や体験を発表する『閉講のつどい』を3月7日に行ないました。



▲講座で学んだ成果や体験を発表した平成19年度の閉講のつどい。

### ■スポーツ振興課

2月3日、「第1回北秋田市民ス



▲日頃の練習の成果を発揮した第1回北秋田市民スキー大会。

### ■国体推進室

平成20年度以降の国体開催県への説明会をバレーボール競技は、12月26日・27日大館市樹海体育館で、山岳競技とアーチェリー競技は1月25日市中央公民館で実施しました。国体関係事務の総括として、第62回国民体育大会「秋田わか杉国体」北秋田市報告書と、民泊記念誌として「泣き笑い民泊のおもいで集」を作成し、関係者へ配付しています。秋田わか杉国体北秋田市実行委員会は、平成19年度第2回総会を2月25日森吉コミュニティセンターで開催し、事業報告と収支決算を承認後、2月29日をもって解散しました。

今年度は  
うして  
こまづくりを  
進めます

# 平成20年度施政方針

これから、本格的な地方分権の時代を迎えるにあたって、行財政改革を一層推進し、市民生活に直結する各種施策を展開して、生活の安定と安心を基本に、産業、文化、そして人が連携し、市民、行政の協働により、市政発展と市勢の繁栄を目指します。

〔20年度の主な事業の一部〕  
▲全国植樹祭開催  
(昨年の様子)



本年度は、主な取り組みとして阿仁病院をはじめ医師確保対策及び診療体制の見直しを行い、新病院を核とした地域医療の再編に向けた環境整備を進めます。  
本年オープン予定の大型商業施設での新たな雇用に期待するとともに、今後も新規企業の誘致活動を強めながら地元商工業の活性化に結びつけるとともに、市の中核となる産業の育成を積極的に推進します。  
また、6月15日には北欧の杜公園を会場に第59回全国植樹祭が開催されます。北秋田市を全国発信する好機ととらえ、市民皆さまとともに成功に向けて取り組みます。項目別の主な施政方針と事業等は次のとおりです。

## ■総務・企画・財政・広報など

- ◇小さな市役所を目指した体制づくり
- ◇インターネット公売等の未納金対応策の実施
- ◇集中改革プランの実効性の検証と着実な進行
- ◇行財政改革大綱の策定
- ◇秋田内陸線再生計画の目標達成に向けた取り組み
- ◇財政運営の健全化
- ◇全国植樹祭に焦点を合わせた情報発信
- ◇広報・ホームページにおけるきめ細かな情報提供
- ◇電算システムの個人情報等セキュリティ強化

## ■道路・河川・住宅・上下水道

- 都市計画
  - ◇都市計画道路「太田川口線」の21年度完成を目指した工事着手
  - ◇鷹巣大館道路（日治道）の事業中区間の早期完成
  - ◇二ツ井鷹巣間の早期格上げ・事業化に向けた要望展開
  - ◇阿仁地区の市営住宅整備に向けた基本計画設計
- 道路河川
  - ◇災害復旧工事（公共土木施設）の早期完成
  - ◇東根田下杉線の用地測量着手
  - ◇旧平里橋の解体工事
  - ◇小様三枚線道路改良工事、七日市松沢線妹尾館地内改良工事の早期完成
- 下水道
  - ◇鷹巣・合川・米内沢・阿仁4処理区での面整備工事の継続
  - ◇合川道城地区の農業集落排水事業工事の推進
- 水道
  - ◇増圧工事、配水管布設工事の施工による有収率の向上
  - ◇災害復旧工事（水源）の早期完成

## ■福祉・保健

- 国民健康保険・保健事業
  - ◇後期高齢者医療制度の周知
  - ◇特定健診、特定保健指導による健康づくり意識の啓発
  - ◇乳幼児の健全な育成のため健診や相談、食育の推進
- 福祉（児童・高齢者・障害者など）
  - ◇生活保護に係る適正な保護の実施と自立支援
  - ◇保育サービスの拡充と安心して子育てできる環境整備
  - ◇児童や配偶者への虐待等に対しての早期対応、巡回相談
  - ◇母子自立支援員による各種相談、生活支援等
  - ◇コウノトリ委員会による、幸せな結婚へ向けた支援
  - ◇障害者自立支援法の見直しに係る周知と円滑な事業実施
  - ◇もろびこども園の効果的、効率的な運営
  - ◇地域包括支援センターの体制強化
  - ◇介護予防・地域支え合い9事業の継続と整備
  - ◇第4期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定

## ■医療

- ◇市民病院建設工事の適正監視
- ◇公立米内沢病院の経営改善による財務健全化の推移と対応
- ◇阿仁病院の管理施策による効率的な医療体制づくり
- ◇合川診療所の医療体制の見直しによる健全経営化

## ■生活環境・防犯・防災など

- ごみ・廃棄物処理など
  - ◇ごみの減量化と再資源化の推進
  - ◇地球温暖化対策推進実行計画の策定と啓発
  - ◇廃棄物処理施設の安全な稼動と適正な維持管理
- 交通安全・防犯・防災・消防
  - ◇交通安全運動の啓発と交通事故の減少・撲滅への取り組み
  - ◇防犯指導隊、防犯協会の活動支援
  - ◇地域安全ネットワーク、スクールガード等との連携による「暮らしの安全・安心」の確保
  - ◇避難マニュアル、ハザードマップの作成
  - ◇救急救命講習会、AED講習会の開催と啓発
  - ◇住宅用火災警報器の設置に向けた運動の強化
  - ◇阿仁分署への高規格救急車の配備
  - ◇県消防広域化計画に基づき、新消防本部設立に向けた準備

## ■観光・商工業

- 観光
  - ◇総合観光案内所と観光情報プラットフォームを中心とした全国各地への観光情報の発信
  - ◇全国植樹祭開催に伴う観光情報、地域特産情報の発信強化
  - ◇市推奨認定特産品制度による魅力ある特産品の開発
  - ◇森吉山観光の2次アクセスの充実
  - ◇市ホームページを利用したタイムリーな観光情報の提供
- 商工業
  - ◇「まちの賑わいづくりアクションプラン」の実施
  - ◇雇用の機会を創るための企業誘致活動と既存企業の支援
  - ◇バイオエタノール関連の調査研究

## ■農林業

- ◇災害復旧事業（農林業関係）の早期完成
- ◇災害農地の通常作付を前提とした取組強化
- ◇「地域水田農業ビジョン」の実現
- ◇有機質堆肥の投入による畑作園芸の振興
- ◇収益性の高い畜産経営の支援と環境の改善
- ◇圃場整備、水路改修等による生産基盤の整備
- ◇計画的な間伐、保育等による森林の整備

## ■小中学校・幼稚園・市立高校

- 小中学校
  - ◇小学校再編整備計画の具体的な内容の周知と意見聴取
  - ◇鷹巣南小と竜森小の円滑な統合準備
  - ◇「ふるさと教育」「ハロースクール運動」の推進
  - ◇スクールバス等の活用による登下校時の安全確保
  - ◇自立支援事業・生活サポート事業等の推進
  - ◇外国語指導助手の配置による英語・国際理解教育の充実
  - ◇全国植樹祭への積極的参加
  - ◇山村留学事業を継続、秋田リフレッシュ自由学園の開設
  - ◇学校給食における食の安全性の確立
- 幼稚園
  - ◇幼児教育の充実
- 高等学校
  - ◇心豊かで生徒を活かし活力ある学校、地域に根ざした学校づくりを推進
  - ◇生徒の多彩なニーズに応えるため、各科の特徴を活かした学習指導、進路指導、生活指導の充実

## ■生涯学習・公民館活動

- 生涯学習・文化振興など
  - ◇生涯学習等の振興のため、諸施策の取り組み
  - ◇芸術文化協会の加盟団体、自主サークルの活動支援
  - ◇芸術文化活動の鑑賞・発表の場の提供
  - ◇図書館の児童図書書の充実
  - ◇伊勢堂岱遺跡の継続調査、森吉山ダム周辺遺跡発掘調査の出土遺物の報告
  - ◇胡桃館遺跡は国の重要文化財指定を目指し、詳細を調査
- 公民館
  - ◇市民の要望に応えた各種講座の開設と学習情報の提供

## ■スポーツ関係

- スポーツ施設等
  - ◇気軽に参加できる生涯スポーツを推進、関係団体と協力し各種大会の実施やスポーツ教室の提供
  - ◇体育館、野球場、陸上競技場等各施設の整備と一層の充実

# 一般会計

予算額 204億8256万7千円

今年度は  
こうして  
まちづくりを  
進めます

## 主な事業(一般会計)

単位：千円

保健事業費	91,829	木造公共施設整備事業	78,803
予防費	22,117	森林整備地域活動支援交付金事業	31,016
母子保健事業費	15,452	造林費	48,008
地域医療推進費	18,606	地域振興事業補助金	11,000
浄化槽設置整備事業	19,184	商業活性化総合支援事業費補助金	6,656
特定地域生活排水処理事業特別会計繰出金	12,793	中心市街地活性化協力支援事業補助金	1,950
塵芥処理費	98,746	企業誘致対策費	17,424
北秋田市周辺衛生施設組合負担金	184,825	道路維持費	360,615
クリーンリサイクルセンター費	170,836	道路新設改良費	170,838
簡易水道特別会計繰出金	191,417	都市計画街路事業	207,465
病院事業費	1,395,208	公営住宅整備事業	13,498
国民健康保険合川診療所特別会計繰出金	8,100	下水道事業特別会計繰出金	498,396
土作りによる食味・品質向上対策事業	1,800	高規格救急車整備事業	32,150
中山間地域等直接支払交付金事業	25,731	防火水槽設置事業	8,456
目指せ“元気な担い手”農業プラン応援事業	19,322	遠距離通学費補助金	6,753
集落営農推進事業	5,660	山村留学センター運営費	26,474
農山漁村活性化プロジェクト事業	532,850	小学校費	333,576
農地等の地力再生支援事業	6,339	中学校費	197,442
水稲・大豆の種子購入支援事業	2,004	高等学校費	401,910
きのこ原木等購入支援事業	4,725	幼稚園費	24,759
農山村活力向上モデル事業	2,520	伊勢堂岱遺跡発掘調査事業	27,863
県営担い手育成基盤整備事業	7,800	森吉山ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査事業	50,142
県営かんがい排水事業	5,250	公民館費	133,712
むらづくり交付金事業	80,221	保健体育施設費	60,209
農業集落排水事業特別会計繰出金	198,966	学校給食費	345,705
地籍調査事業	16,262	農業施設災害復旧費	9,513
緑化推進事業	3,844	林業施設災害復旧費	19,216
林道整備事業	61,879	公共土木施設災害復旧費	305,167

## 平成19年度末各種基金残高見込額

基金名称	残高見込額
財政調整基金	443,991千円
減債基金	102,045千円
まちづくり基金	74千円
地域福祉基金	89千円
中山間ふるさと水と土保全基金	27,375千円
森吉山環境保全管理基金	1,087千円
地域振興基金	2,424,655千円
土地開発基金	486,960千円
国民健康保険財政調整基金	424,684千円
介護保険財政調整基金	279,583千円
簡易水道事業減債基金	90,443千円
農業集落排水事業償還基金	19,241千円
高額療養費貸付基金	9,907千円
奨学金基金	37,346千円
介護給付費等貸付基金	18,000千円
特別導入事業基金	14,464千円
合計	4,379,944千円

## 歳入項目の用語解説

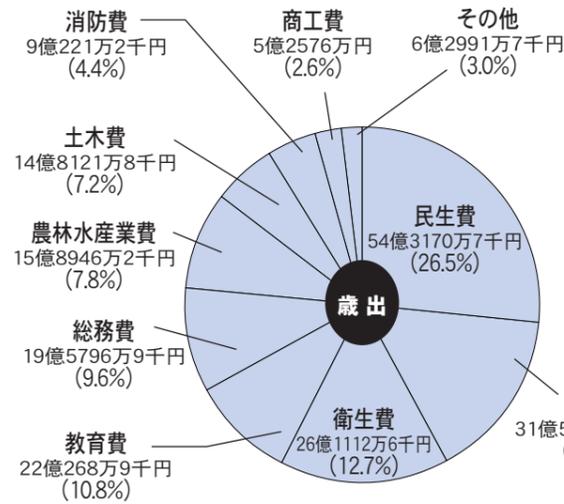
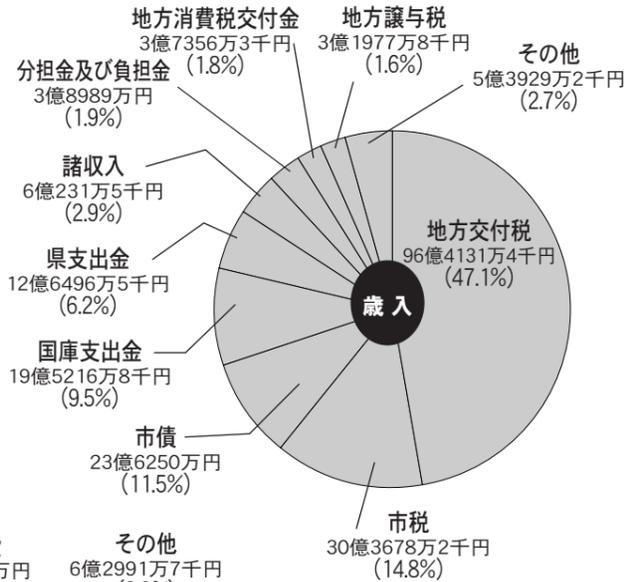
地方交付税	国の租税から市に配分された税
市税	市が徴収する税
市債	事業等のための市の借入金
国・県支出金	国・県から目的により負担金、補助金、委託金として交付される支出金
繰入金	基金、特別会計からの繰入金

## 歳出項目の用語解説

民生費	高齢者、障害者、児童福祉など福祉全般の費用
公債費	市が事業のため借り入れたお金の返済金
教育費	学校、幼稚園、各種教育施設の整備、生涯学習、公民館などの費用
総務費	職員、庁舎管理、選挙などの費用
土木費	道路等の建設費用
衛生費	ゴミ処理、基本健診などの費用
農林水産費	農林業等の費用
消防費	消防防災などの費用
商工費	商工業振興などの費用

## 歳入のその他の内訳

使用料及び手数料	266,278千円
自動車取得税交付金	102,759千円
地方特例交付金	20,199千円
財産収入	21,583千円
利子割交付金	10,531千円
ゴルフ場利用税交付金	10,737千円
寄附金	23,381千円
交通安全対策特別交付金	7,222千円
配当割交付金	9,062千円
株式等譲渡所得割交付金	7,356千円
繰入金	60,183千円
繰越金	1千円



## 歳出のその他の内訳

議会費	162,793千円
労働費	62,907千円
災害復旧費	333,896千円
諸支出金	50,321千円
予備費	20,000千円

区	分	20年度予算額	19年度予算額		増減率%		
			当初	現計	当初	現計	
一般会計		20,482,567	20,170,336	23,381,572	1.5	△ 12.4	
特別会計	国民健康保険	3,957,367	3,993,200	4,301,654	△ 0.9	△ 8.0	
	国民健康保険合川診療所	221,712	195,655	382,042	13.3	△ 42.0	
	老人保健	1,435,594	5,136,500	4,841,126	△ 72.1	△ 70.3	
	介護保険	3,926,617	3,647,944	4,011,922	7.6	△ 2.1	
	介護サービス事業	128,888	136,796	129,616	△ 5.8	△ 0.6	
	簡易水道	916,048	1,014,575	797,307	△ 9.7	14.9	
	農業集落排水事業	500,051	468,235	549,411	6.8	△ 9.0	
	下水道事業	1,672,781	1,986,588	1,884,124	△ 15.8	△ 11.2	
	特定地域生活排水処理事業	30,489	32,405	19,653	△ 5.9	55.1	
	宅地造成事業	866	4,816	309,192	△ 82.0	△ 99.7	
	後期高齢者医療	447,044	0	0	皆増	皆増	
	財産区	坊沢	1,007	987	28,462	2.0	△ 96.5
		綴子	2,010	1,998	59,810	0.6	△ 96.6
		栄	738	660	51,988	11.8	△ 98.6
沢口		3	18	1,994	△ 83.3	△ 99.8	
七日市		775	596	28,031	30.0	△ 97.2	
米内沢		7,779	9,683	37,424	△ 19.7	△ 79.2	
前田		29,138	30,845	134,948	△ 5.5	△ 78.4	
特別会計合計	阿仁合	2,483	3,980	12,471	△ 37.6	△ 80.1	
	大阿仁	4,641	6,700	8,791	△ 30.7	△ 47.2	
	合計	13,286,031	16,672,181	17,589,966	△ 20.3	△ 24.5	
合計	33,768,598	36,842,517	40,971,538	△ 8.3	△ 17.6		

※水道事業会計、病院事業会計を除く。  
※平成19年度予算額(現計)は、3月議会上程の予算案が可決された場合の額を計上。

# 平成20年度 北秋田市 の予算

平成20年度の予算は、国の地方財政計画において地方交付税が5年ぶりに増額されたものの、市では納税者の減少等により税収が減少するなど引き続き厳しい財政事情の下で、昨年9月17日に発生した豪雨災害の復興対策を最優先とし、基幹道路整備や市民病院建設等の継続事業を着実に進めるとともに、高規格救急車の購入や携帯電話受信設備の整備など安心していくための基盤整備にも配慮しながら、更には6月開催される全国植樹祭を踏まえ編成されました。

市の財政は、経常収支比率が高い状況(平成18年度決算において94.9%)にあり、予算編成にあたっては、一般財源配分方式(シーリング)により、各部・課において経常経費の一層の見直しと行財政の簡素化・効率化を図るとともに、多様な住民ニーズに応えるため、政策的経費に充当する財源の確保に努め編成しました。



# 植樹祭本番に向け、準備着々

100日前イベント◇記念式典合同練習◇お野立所建設など取り組み進む

6月15日に開催される第59回全国植樹祭まであと2カ月半となりました。県では、3月8日、植樹祭の100日前イベントを北欧の杜公園内のパークセンターで開催し、植樹祭への関心を高めました。

また、天皇后両陛下の観覧のお席となるお野立所の建設が公園内で進められているほか、3月下旬には、市内の小中高生が役割を担う式典での演技や合唱、吹奏楽演奏などの合同練習も行われ、当日に向けた体制づくりが着々と整えられています。

## 100日前イベントでPR

第59回全国植樹祭は、2月12日、東京都で開かれた国土緑化推進機構の特別委員会で実施計画が承認され、式典会場の建設、出演者による合同練習など、開催に向けてハード・ソフト両面で着々と準備が進められています。

▲100日前イベントでは、本市ならではの自然の恵みを使った「山菜加工味自慢大会」も行われました



北秋田地域振興局では、同植樹祭への関心を段階的に高めようと、3月8日、100日前イベントを実施、自然環境の保護などを啓発する「米代川流域水と緑のネットワーク」活動と合わせ、市内外に植樹祭

をPRしました。パークセンターの玄関前で行われた開会式では、はじめに秋田市の舞踊サークル「ヤートセ秋田酔楽天」が、よさこい鳴子踊りを秋田音頭でアレンジした「ヤートセ踊り」の演奏でオープニングを飾りました。センター内では、2階大ホールを会場に、大館北秋田森林組合が主催する「山菜加工味自慢大会」や、世界第2の高峰「K2」日本人初の女性登頂者となった秋田市出身の小松由佳さんの記念講演などが行われ、多くの来場者が詰め掛けました。

## 自然の恵み「山菜」を活用した料理味自慢大会も

このうち山菜加工味自慢大会は、オリジナルの料理レシピによる家庭料理の味自慢大会。北秋田地方ならではの「自然の恵み」を使った加工食品の開発をねらいとして企画されたものです。大会には32人から46品目の応募



▲全国植樹祭の意義や秋田の森づくりなどについて意見交換する小松由佳さん、寺田知事、岸部市長（100日前イベントで）

また、記念講演の講師を務めた小松さんは中国とパキスタンの国境にある「K2」制覇の体験談を披露しながら、登山と大自然への熱き思いを語りました。この中で小松さんは、「私の山登りの原点はすがすがしい空気と緑あふれる風景。地元秋田の山々とブナの原生林などは宝物の存在。皆で愛し、大切に守り育てて行き

ましょう」と、秋田の自然の豊かさを守り伝えることの大切さを訴えています。

このほか、会場には廃油石けんづくりの体験コーナーが設けられ、米代川流域水と緑のネットワーク会員、竜森小学校の児童などの、自治会や家族で申し込んだ各グループが、講師の指導を受けながら廃

油と苛性ソーダなどを利用して作る石けんづくりに真剣に取り組んでいました。

また屋外では、秋田杉の太木にチェーンソーで彫刻するチェーンソーアートの実演が行われ、何種類ものチェーンソーを器用に操り、ふくろうなどの形に仕上げる妙技に、多くのギャラリイが見入っていました。

## 建設がはじまった式典会場シンボル「お野立所」

式典会場となる北欧の杜公園南側の大芝生広場では現在、天皇后両陛下がご臨席になる施設「お野立所」と付帯施設の建設が進められています。

式典会場のイメージは、「水と緑のふるさと・秋田」。建物や備品には秋田杉など秋田の多様な木



▲式典でのアトラクション「秋田の森・川・海～豊かなめぐみの循環」を練習する市内小学校の児童（3月24日、鷹巣体育館で）

製品が使われます。

お野立所は、秋田の伝統家屋に見られる「中門づくり」と呼ばれる様式で、茅葺きの入母屋式屋根が特徴。その両翼には来場者席を包み込むようにカーブを描いた「秋田杉の回廊」が設けられ、特別招待者席とつながっています。

お野立所は、植樹祭終了後も記念施設として残されることになっています。

## 小中高生は、本番に備え式典での役割を合同練習

また、式典での演奏、演技、介添えなどで出演する市内各高校・小中学校の合同練習が22・24・25日の3日間、交流センターや鷹巣中学校などを会場に行われ、本番に備えました。

22日には、鷹巣・鷹巣農林・合川・米内沢の4高校の吹奏楽部が、交流センターを練習会場にファンファレや「君が代」ほか式典曲を特訓し、演奏技術とチームワークを高めました。

24日は、式典でのアトラクションに出演する演技隊と介添えの練習会。市内16小学校の5年生255人が参加し、鷹巣体育館（演技隊）と鷹巣農林高校見本林（介添え）を会場に演技の振り付け、介添えを担当する心構えや動作を学びました。

また25日には市内5中学校の2年生325人が参加し、合唱（会場・鷹巣中学校）と介添え（鷹巣農林高校見本林）の練習をしました。

合唱隊は会場で、「君が代」や「浜辺の歌」を歌うことになっています。

## 式典の基本構成（実施計画より抜粋）

- 開会前（7:25～）
  - 招待者入場
  - イベントステージ
  - 環境デザイントークほか
- プロローグ（10:20～）
  - 水と緑のリレーメッセージ
  - 感謝状の贈呈ほか
- 式典（10:56～）
  - 天皇后両陛下御着
  - 三旗掲揚・国家斉唱
  - 主催者あいさつ
  - 天皇陛下のおことば
  - 表彰
  - 苗木の贈呈
  - 天皇后両陛下お手植え・お手撒き
  - 代表者記念植樹・三世代記念植樹
  - アトラクション
  - 大会宣言
  - リレーセレモニー
  - 天皇后両陛下ご退席
- エピローグ（12:05～）
  - 太鼓演奏ほか
  - 昼食
  - イベントステージ再開（～15:00）

団体の皆さんの活動を応援します

# 市民提案型まちづくり事業補助金

北秋田市では、行政主導のまちづくりから、行政と地域社会及び市民が協働し、地域課題を解決する市民協働のまちづくりを進めています。この補助金は、そうしたまちづくりを進める一環として、市民団体が自主・自発的に行う、北秋田市のまちづくりに役立つ事業に対して、事業費の一部を補助するものです。創意工夫を活かした提案をお待ちしています。

### 問い合わせ

企画部総合政策課  
☎62-6606

### 補助の対象

補助対象となる経費は、事業実施に必要な経費で、団体の事務局経費は対象となりません。

### 実施する事業の要件

- ① 市民の福祉の向上及び利益につながる、公益上の必要性が認められる事業で、以下の要件を満たさなければなりません。
- ② 市内で実施される事業であること
- ③ 北秋田市の財源による他の補助金等の対象となっていない事業であること
- ④ 事業の実施計画及び収支計画が明確であること
- ⑤ 平成20年6月から平成21年3月末までの間に実施する事業であること

### 補助を受ける団体の要件

会員が原則5人以上で構成される

る団体です。法人会員の場合は1人・1人で計算します。づくり事業補助金評価市民委員会」で行います。

### 交付回数の限度

同一事業について最大連続3回まで補助金交付できません（単年度補助です。毎年度審査を実施します）。

### 補助額

補助額は100万円以内（下限を5万円）とし、次に掲げるもののうち最も低い額とします。

- ① 1事業当たり、補助対象経費総額の50%以内
- ② 補助対象経費の総額から事業収入（入場料、売上金、協賛金等）を差し引いた額

### 審査機関

市民、学識者等で構成する第三者機関「北秋田市市民提案型まち

### 審査方法

応募書類により審査し、交付の優先順位等を決定します。公開プレゼンテーションを実施する予定です（開催日は、応募団体に通知します）。

### 募集受付・相談期間

4月1日から5月9日まで

### 申し込み

応募する団体は、締切日までに提出書類を受付窓口（企画部総合政策課本庁舎2階）へご持参ください。提出書類の様式を含む募集要項は、受付窓口にご請求くださるか、市ホームページからダウンロードできます。

### 昨年度の補助対象事業は以下の7団体です

団体名	事業内容
あそび体験活動ボランティア「この指と〜まれ」	あそび体験イベントの開催
北欧の杜ウィンターゲーム実行委員会	北欧の杜ウィンターゲームの開催
コールもりよし合唱団	もりよし合唱祭の開催
まつたけ林業育成会	まつたけ祭りの開催
女声合唱団・それいゆ	座布とんコンサートの開催
今泉自治会	スギッチの電飾と菅真澄の松
異人館倶楽部	産業遺産旧阿仁鉱山フォーラム



昨年のプレゼンテーションの様子

## 県北地域の道路整備に待ったなし

道路特定財源の確保を求める総決起大会

大館商工会議所ほか大館北秋、鹿角、能代山本地区の商工会連合組織主催の「道路特定財源の確保を求める総決起大会」が3月9日、関係者や市民などおよそ300名が参加して市交流センターで開かれ、地域の経済的発展と生活を守るための道路特定財源は欠かせないとする意見発表や大会決議の採択などが行なわれました。

### 地方存続のための

#### 道路整備が喫緊課題

主催者を代表して大館商工会議所の虻川東雄会長が「県北地域にとっては財源を確保した上での道路整備が不可欠。地域住民が一致団結して暫定課税の維持を求めて行こう」とあいさつを行なった後、来賓として出席した西村哲男秋田県副知事、津谷永光県議会議員、

### 暮らしの安心、

#### インフラ整備に陰り

県北地域の住民からの意見発表では、鈴木正幸さん（北秋田市）、安保朗さん（鹿角市）、鳥潟功さん（大館市）、佐々木美智子さん（八峰町）の4人から自治会運営や住民生活、事業経営などの立場から、道路等の整備促進を必要とする意見が出されました。

このうち、鹿角市で保険関連の事業などを営む安保さんは、「橋の老朽化に予算対応ができない実例にショックを受けている。財源が無くなれば生活を維持するだけの道路整備さえも危うくなるのではないか。ガソリンが安くなったとしてもその先の暮らしの安心、インフラ整備につながるかどうか」と、高速道路などの建設促進もさることながら、暮らしに身近な最低限のインフラ確保にも陰りが出そう、との不安を訴えていました。

大会最後には、政府ほか国の関係機関に、平成20年度以降も道路特定財源を確保した上で、地方への道路整備を確実に進めようとする決意を満場の拍手で採択し、参加者全員での「頑張ろう三唱」を行って終了しました。



道路特定財源の確保を求める大会決議を行った総決起集会

## 市長日誌

◇3月1日〜15日

3日（月）▽市立合川高等学校卒業式に出席（合川高校）▽米内沢病院用務で秋田大学附属病院を訪問（秋田大学附属病院）

5日（水）▽あきたバイオ燃料フォーラムに出席（交流センター）▽第2回鷹巣阿仁地域保健医療福祉協議会に出席（ホテル松鶴）

8日（土）▽全国植樹祭1000日前イベント記念のパネルディスカッションに出席（県立北欧の杜公園）

9日（日）▽道路特定財源の確保を求める総決起集会に出席（交流センター）

11日（火）▽産声の聞こえる街づくりプロジェクトで来市の社民党福島瑞穂党首と意見交換（市役所大会議室）

12日（水）▽平成20年北秋田市議会3月定例会一般質問（議事堂）



▶3月定例会一般質問にて答弁する岸部市長

### 和食の「いっしょ」、郷土食材の調理法を学ぶ

～平成19年度大館・北秋田地域スローツーリズムセミナー～

スローツーリズムセミナーが3月17日、市内のホテルで開かれ、野菜生産農家、料理店経営者など約100人が参加し、地域の食材を使った調理講習会や座談会などで、観光素材としての「食」のあり方を探りました。

セミナーは、滞在型・体験型観光を推進している北秋田地域振興局が、誘客手段として重要な「食」の部分に着目し、大館・北秋田地域の郷土食材の魅力や和食調理人の調理技術を学ぶことで地元の食材を再認識し、商品開発や地域振興につなげようと開催したものです。

セミナーは、ホテルニューオータニ幕張で和食料理長を務める井川比呂志さんの調理実演と、市民が井川さんと郷土料理の魅力などを語り合う座談会の2部構成で行われ、J A、商工会、



上 郷土料理を生かす心意気と調理技術を学んだ調理実演  
下 山の芋をはじめ郷土の食材の魅力についての意見交換



北秋田森林組合の関係者、野菜生産農家、料理店・仕出し店の経営者など約100人が参加しました。

調理実演で井川さんは、「比内地鶏の山の芋蒸し山菜添え」「山の芋とペイナスの揚げ出し」の2品を調理。下ごしらえから味付け、盛り付けなど各段階でわかりやすく説明を加えながら、郷土料理を生かす心意気と調理技術を伝え、具体的なアドバイスを参加者はメモを取りながら聴き入っていました。

続いて行われた「持ち寄り郷土料理を囲んで座談会」では、地元・鷹巣地域で山の芋の生産と販売に関わっているJ A鷹巣町婦人部の主婦ら6名が講師を囲んで、山の芋の上手な調理方法や販売促進などについての意見交換を行ない、

井川氏は「郷土料理の良さは、足元では分からず外へ出されてその値打ちが出てくる」などと述べ、特産品は地元で愛されてはじめて外へ向かって成長していくものであることを強調。また、「よいものは地元の皆さんがこよなく愛し、いい素材にしている調理品に仕上げていく地道な努力が大切。これからも自身を持って生産に、販路拡大に精を出してほしい」と熱いエールを送っていました。

### 遺跡出土の緊張や喜びを語り合う

森吉の発掘調査を語る会

森吉の発掘調査を語る会が3月22日、森吉コミュニティセンターで行われ、これまで発掘調査に携わった約60名が参加し、調査の喜びや苦労を語り、思い出を振り返りました。

森吉山ダム建設に係る発掘調査は平成7年から始まり、今までに51ヶ所の遺跡が調査され、旧石器時代から江戸時代に至るまでの遺物や遺構が発見され、出土した遺物の量は、コンテナケースで約8千箱分にもなります。

発掘された遺物や遺構には、1万年以上前の生活の痕跡が色濃く残され、当時の森吉山の懐に抱かれた山間の地で山川の恵みを受け、外の地域と共通した文化の一翼を担っていた様子が伺えます。



13年間の発掘調査の歴史をスライドで上映し、思い出を振り返った語る会



入賞した菌床シイタケ栽培農家のみなさん（前列左から佐藤さん、九嶋さん、後列右から金さん、武石さん）

### 米内沢地区4農家が全員入賞

全国サンマッシュ生産協議会品評会

このほど行なわれた全国サンマッシュ生産協議会の品評会で、佐藤哲也（鶴田）さんが金賞、武石恒夫（日栄）さんが銀賞、金隆三（本城）さん、九嶋善一（鶴田）さんが銅賞と輝かしい成績を収めました。

米内沢地区で菌床シイタケを栽培している農家は4農家で、元々は原木を使用していたシイタケ栽培を行っていましたが、労力の軽減やシイタケの肉厚、食味の良さから菌床シイタケに経営を転換。1農家約6〜7千床で稲作期間が終わる10月から3月末までシイタケを採取しています。

金賞を受賞した佐藤さんは「今後、地元の栽培農家を増やし、菌床シイタケをもっと全国に広めたい」と豊富を語っていました。

### 春の訪れを知らせる炎

春彼岸「万灯火」

春彼岸の中日にあたる3月20日夜、合川・下小阿仁川流域の各地区で伝統行事「万灯火」が行われ、迎え火の放列が残雪の山間に浮かび上がりました。

万灯火は、墓地の他、山の尾根づたいや沢づたい、川原でたいまつを灯し、精霊がその火を道しるべとして家々に舞い戻り子孫のもてなしを受けるとされ、豊年満作、家内安全を祈願します。

最近では、「まどび」、「中日」の火文字や、回転式の車万灯火など趣向を凝らした仕掛けも登場し、万灯火を一目見ようと遠方から訪れる人も増えています。



芹沢地区で行なわれた「万灯火」。8月14日には合川橋付近で「合川まと火」が行われます

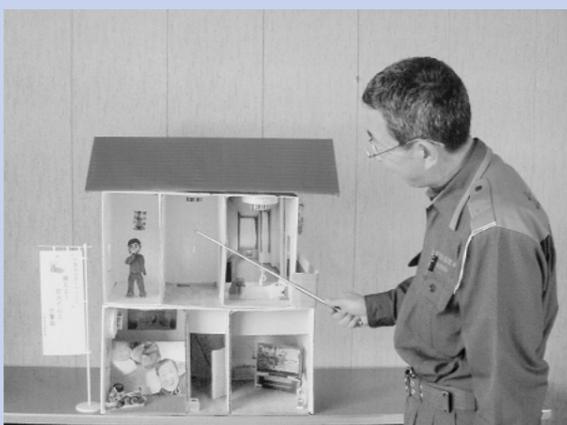
### 手作りモデルハウスでデモ

住宅用火災警報器説明会

住宅用火災警報器設置のモデルハウスを利用したデモンストラーション講習会が3月7日、吉田分館で行なわれました。

この講習会は、火災の早期発見、死傷者の抑制のため平成23年5月末までに設置が義務付けられた住宅用火災警報器の普及、啓発のため市消防本部阿仁分署が開催したものです。

実際にモデルハウスの1階部分で煙を発生させ、2階階段の感知器が煙を感知するのを見て、参加した約30名の住民らは、各地で火災による死者が多発していることから「早速警報器を注文して取り付けなければ」と、住宅火災の恐ろしさと、住宅用火災警報器の必要性を実感していました。



職員手作りのモデルハウスで住宅用火災警報器の必要性を訴えた講習会

平成20年度

### 高鷹大学 受講生募集

55歳 上の  
方ならどなたでも受講  
できます

何でもいいから、好きなこと。1つでもいいから、夢中になれること。挑戦しましょう、生きがいを持つために。

高鷹大学では、現在約400名の受講生が「生きがい」を持って学習しています。

◇年7回の全体講座  
があります。

(講演、見学等)

◇クラブ活動があり、  
1人1クラブに入部  
できます。

(詩吟・陶芸・歌謡・習字・



全体講座「市内探訪」

ちぎり絵・俳句・歩こう・園芸・写真・グラウンドゴルフ・ふるさと研究・大正琴・健康・ゲートボール・ユニカール・レクリエーションダンス)※申し込み人数によっては実施できない場合もあります。

◇運営費として1,000円を申し込み時にいただきます。

◇受付 4月1日(火)~18日(金)※厳守

■お申込み・お問合せ

教育委員会生涯学習課 ☎62-6618

鷹巣地区の「高鷹大学」の卒業・閉講式が3月14日、市文化会館で行われました。高鷹大学では、大学課程4年、大学院課程4年を終了後、研究生として学び続けることができ、今年度は349名が在籍しています。大学課程、大学院課程のそれぞれの4年生が卒業の対象となっており、今年度は53名に総長の三澤仁教育長から卒業証書が、また年間の全体講座・クラブ活動に休まず出席した受講生47名に皆勤賞が授与されました。

▶卒業生代表としてあいさつする宇佐美慧さん(大学4年課程)



### 53名に卒業証書を授与、47名が皆勤賞

19年度高鷹大学卒業・閉講式

式典では、大学課程4年の宇佐美慧さんが、卒業生を代表してあいさつしました。この後、秋田県健康環境センター保健衛生部地域保健班研究員の張勇(ちよう・ゆう)氏による記念講演「がん予防できる」が予定されています。

前線の情報」を聴講し、学習を深めました。

## 学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習 ●文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会

平成19年度

中央・鷹巣地区  
公民館合同閉講  
のつどいが3月  
7日、定期講座受  
講生170人の参加  
のもと、中央公民館ホ  
ールで開催されました。

発表部門では中央「古文書塾」受講生の工藤正吉さん、中央「ふるさと探訪」受講生の白川正信さん、中央「ハツラツ健康倶楽部」受講生の長タイさんに今年度講座を受講した動機や活動を通しての感想などを語っていただきました。

交流会に入ってから演示部門では計6団体が活動の成果を披露。中央公民館「エアロビクス」をトップバッターに、各地区館が、「健康ダンス講座・舞踊(沢口)」、「唱歌を楽しむ講座(綴子)」、「着付け講座(七日市)」、「健康ダンス講座・レクリエーションダンス(沢口)」、「太田移動講座・健康体操(栄)」を披露し、最後に客席と一緒に健康体操でリフレッシュし、演示部門を締めくくりました。

各講座受講生が1年間学んだ成果を披露し合い、会場は、ステージと客席が一体となって和やかなムードに包み込まれていました。

## 学んだ成果を存分に発揮して

中央・鷹巣地区公民館合同閉講のつどい



◀見る側もリフレッシュしました。栄公民館太田移動講座「健康体操」



◀長タイさんに受講生としての感想を語っていただきました



◀あでやかに変身した七日市公民館「着付け講座」の受講生

## 春を呼ぶ「前田文化交流会」

前田公民館「地域芸術文化活動事業」

前田文化交流会が3月9日、「四季美館」で開催され、出演した地区ゆかりの出演者が多彩なステージで約200人の来場者を楽しませました。

交流会は、前田地区集落会長や公民館関係者などでつくる実行委員会(春日正一委員長)が、市の「地域芸術文化活動資金」を活用して開催したものです。

出演したのは、アマチュアバンド「スプリング☆フォー」「日舞鳳扇会」「民謡教授柏木妙子民謡教室」の3団体。いずれにも前田地区出身者(落合秀春さん、三浦靖さん、柏木妙子さん)がいるとあって、特に地元前田地区から多くの来場者が詰め掛けました。

ステージではスプリング☆フォーのバンド演奏を



◀ステージでは前田地区出身者が出演し来場者を楽しませました

皮切りに、歌や踊りの熱演が繰り広げられ、観衆もそれに応えて手拍子を送るなど、ステージと一体となって交流していました。

昨年9月の豪雨災害で被害を受けた地区住民の多くからも「とても楽しかった」との声が聞かれました。

### 「放課後子ども教室」ボランティア募集

放課後子ども教室は、小学校児童の放課後の安全・安心な居場所の確保と、遊びなどの活動や交流を通し、子どもたちの豊かな人間形成を図ることを目指して行っています。

有償ボランティアとして次の方を募集します。

▼コーディネーター(若干名)

指導員や関係機関との連絡調整、教室の運営アドバイス等を行います。

▼指導員(若干名)

教室で子供たちと遊んだり、体験活動の指導、安全管理を行います。

活動場所 各児童館、公民館、児童クラブなど

活動時間 週に1~2回、放課後2~3時間程度

資格 特にありません。子どもが好きで活動場所まで通える方。

待遇 規定により謝礼をお支払いします。

◎申込み・お問合せ

教育委員会生涯学習課 ☎62-6618



▲活動と交流を通し、子どもたちの人間形成に寄与できます

成人検診が始まります

平成20年度北秋田市成人検診日程表が広報と同時に各家庭に配布されて...

北秋田市商工会が発足

4月1日、鷹巣町商工会、阿仁森吉商工会、合川町商工会が合併し、新たに「北秋田市商工会」が発足します...

平成20年6月15日開催 第59回全国植樹祭

テーマ「手をつなごう 森と水とわたしたち」 会場 北秋田市「北欧の杜公園」

ねんきん特別便～大切な記録を届けます～

社会保険庁では、約5000万件の未統合記録と基礎年金番号で管理されている記録との名寄せ(氏名、性別及び生年月日の突合せ)等をおこなった後、12月から、記録が年金に結びつく可能性がある方、その他の年金受給者、現役加入者の順番で、加入期間及び加入履歴を記載した「ねんきん特別便」を送付しています。

- 1. 住所変更の届出がお済みでない方は...
2. 結婚等で名字が変わった方は
3. 「ねんきん特別便」が届いた方は

春のクリーンアップ 4月20日(日) 早朝1時間

昨年の「国体」に引き続き今年は、「全国植樹祭」が開催されます。市民総参加でまちをきれいにしましょう。



お詫びと訂正《金属・ガラスのごみの出し方について》 広報3月16日号で『金属・ガラスを市指定の燃やせない袋等に入れた場合、その袋を後で集積所に取りに行ってください』と説明しましたが、市指定の燃やせない袋に入れた場合取りに行く必要はありません。お詫びして訂正します。

お知らせ

社交ダンス初心者講習会

日時 4月10日～6月26日 毎週木曜日 19時～21時
場所 中央公民館、交流センター
講師 藤島 浩さん

健康問保健センター

母子健康手帳交付《4月》
時間 9時30分～11時30分
日程 市保健センター▽7日、21日

公民館

- 中央公民館 ☎62-1130
【ロビー展】 鷹巣絵画クラブ
4・12(土)「トライあんぐる」 = 9:00～12:00
合川公民館 ☎78-2114
【ロビー展】 冥心書道塾(～5日)
木戸石婦人会(7日～)

文化会館

- ▼19(土)おはなしでてこい=14:00～
【みちのく子供風土記館】
▼4(金)～6(日)金森喜美子押絵遺作展=10:00～17:00(最終日は16:00まで)=入場無料

スポーツ

- ▼19(土)第46回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会
▼19(土)・20(日)村田兆治の野球教室=中央公園野球場

北欧の杜公園有料施設オープン

各種有料施設の利用期間並びに利用時間について下記のとおり行います。
オートキャンプ場
期間 4月19日～11月3日
時間 宿泊 13:00～翌11:00
日帰り 10:00～16:00

健康相談《4月》

時間 9時30分～11時30分
日程 市保健センター 9日(水)
合川保健センター 3日(木)
森吉保健センター 10日(木)
阿仁支所 10日(木)

献血日程

4月2日(水) 全血
10時～11時30分 しろび苑
12時～13時30分 山水荘
4月14日(月) 全血
10時～12時 11時～12時 阿仁支所
10時～12時 鷹巣南店

マタニティ講座(中期)

日時 4月18日(金) 18時～20時
場所 市保健センター
対象 7月～9月出産予定の方及びその家族

予防接種(ポリオ)

期日 4月18日(金)
受付 13時～13時30分
場所 森吉保健センター
持参 母子健康手帳、予防票

精神保健相談・老人精神保健相談及びアルコール健康相談(要予約)

加入手続き 4月1日～6月30日
問合せ・申込み 秋田農政事務所 ☎018-862-5720

水田経営所得安定対策対策の加入手続きが始まります

対象農業者 「意欲と能力のある担い手」認定農業者(4ha)、集落営農組織(20ha)※経営規模要件には、中山間地域の地域特例や所得特例等のほか、市町村の特認制度もありますので、左記までご相談ください。

4月の休館日

鷹巣図書館 鷹巣 ☎62-3311
市立森吉図書館 森吉 ☎72-3192

2、9、16、20、23、29、30日

開館時間 9:00~17:00

上杉あいターミナル ☎78-9290

5、6、12、13、19、20、26、27、28、29、30日

開館時間 9:00~17:00

ひまわりの家 ☎78-4025

4、14、21、28日

開館時間 8:30~19:00

夜間当番医(夜間診療)日程表

(診療時間 午後6:30~9:00)

Table with 5 columns: 日, 曜, 医療機関名, 電話番号. Lists on-call doctors for each day of the week.

■次の事項をご確認ください

▼診療の対象となるのは応急の診察を要する方です。仕事や職場の都合で夜間診療を受ける場合は、診療に応じかねます。

▼往診はしていません。年齢・病気の病状にかかわらず事前に当番医に電話等でご相談ください。

お詫びと訂正

前号広報きたあきた2ページ中で誤りがありました。

行政報告の財政課契約額
正 6億4516万7千円
訂正してお詫びいたします。

佐藤健太ちゃん(貴子学) 長男
佐藤敬翔ちゃん(幸子太) 長男
佐藤日織ちゃん(知加子) 長女
戸嶋晃太郎ちゃん(英樹) 長男
淡路真子ちゃん(純子雅) 長女
藤嶋理美ちゃん(望美子) 二女
柴田桜愛ちゃん(望) 長女



お誕生おめでとう
うらやまします

慶弔だより

3月1日~15日届出分

津谷優子(高志) 森吉湯場
三浦英智(智志) 三木泉
秋庭鮎香(あゆか) 青森鶴田
河野隆堂(たかし) 堂ヶ岱
佐藤さき子(さき) 沢中
鈴木章郎(あきら) 新田
黒田春菜(はるな) 大館市



お二人の前途を
祝福します

小塚務(つとむ) 72歳(舟場)
亀山喬(たかし) 61歳(太田)
金田貞藏(ていざう) 94歳(松葉町)
戸澤カツ工(かつこう) 84歳(前山)
布袋屋豊治(とよぢ) 83歳(南田中)
渡部スエノ(すえの) 89歳(花園町)
石田秀勝(ひでかつ) 69歳(南鷹巣)
花田隆(たかし) 53歳(東横町)
三沢キミ(きみ) 78歳(大堤)
織田健太郎(けんたろう) 80歳(阿仁幸屋渡)
三浦加津子(かづこ) 66歳(阿仁水無)
福嶋尚正(なおまさ) 94歳(阿仁荒瀬)
高田チメ(ちめ) 71歳(阿仁水無)
松橋橘之介(たちすけ) 88歳(米内沢駅前)
播磨健蔵(けんざう) 94歳(長野岱)
三浦康次(こうじ) 83歳(三木田)

おこやみ申し上げます

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧ができます

4月1日から平成20年度固定資産税の土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧ができます。

期間 4月1日~6月1日(土、日、祝祭日を除く)

時間 午前8時30分~午後5時15分

場所 本庁税務課及び各支所企画総務課

縦覧できる方

市内に所在する土地、家屋を有する固定資産税の納税者及び納税管理人、またはその代理人

持参するもの

○印鑑または本人と確認できるもの(納税通知書、運転免許証など)

○代理人の場合は委任状

◎問合せ 本庁税務課資産税担当 ☎62-1116 及び各支所企画総務課

市施設の指定管理者を募集します

市では、次の施設で「指定管理者」を募集します。指定を希望される団体等は、指定期間内に所定の申請書を提出してください。

~募集内容~

◆募集施設 北秋田市民プール

◆所在地 北秋田市鷹巣字東中岱2-1

◆設置の目的 スポーツの普及及び振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与することを目的としている。

◆指定期間 平成20年7月1日~平成25年3月31日(5年間)

◆要件 秋田県内に主たる事務所を有する法人その他の団体であること。また、今までに同様の業務の実績、あるいは業務経験のある職員を有し、今後同様の業務を実施する見込みのあること。

~申請の手続き~

◆申請書の交付 5月2日(金)までに希望者に交付します。

◆申請書の提出期限 5月2日(金) 午後5時まで

◆配布先及び提出先 鷹巣体育館内 北秋田市教育委員会
スポーツ振興課 北秋田市鷹巣字東中岱11

~指定管理者の選定等~

◆候補者の選定

市の条例に基づく選考審査を経て、指定管理者の候補者を決定し、その候補者を市議会の議決をもって「指定管理者」に指名します。

◎問合せ 教育委員会 スポーツ振興課 ☎62-3800

金家のお雛様展

森吉地区本城の金家は戦前まで100町歩の田畑をもつ大地主でした。また、現在の邸宅は国の登録文化財に指定されております。

この度、明治の後期に京都から購入したと言われるお雛様(金和彦さん所有)を旧暦の3月3日(4月8日)にあわせて公開します。この機会にぜひご覧ください。

日時 4月6日(日)~13日(日)
10:00~12:00 13:00~15:00

場所 金家和館2階(本城公民館)
北秋田市本城字館の下192

※入場無料

問合せ 生涯学習課 ☎62-6618

市営住宅入居者募集

サンコーポラスなかない住宅(鷹巣字東中岱51-1)
鉄筋コンクリート造5階建 3DK(4階部分)

家賃 43,100円 駐車場使用料 3,000円/台

※単身での申し込みはできません

※駐車場の使用原則1世帯につき1台となります

募集戸数 2戸 敷金 家賃の3ヵ月分

駐車場保証料 使用料の3ヶ月分

入居資格 収入基準を満たすこと(200,000円超601,000円以下)/住宅に困窮していることが明らかでないこと/租税公課を滞納していないこと/その他、窓口にて簡単な調査があります

申込方法 市都市計画課及び各支所まで

募集期間 4月2日(水)~11日(金)

【但し土日を除く】

問合せ 都市計画課 ☎62-6641

指定管理者の指定の取消

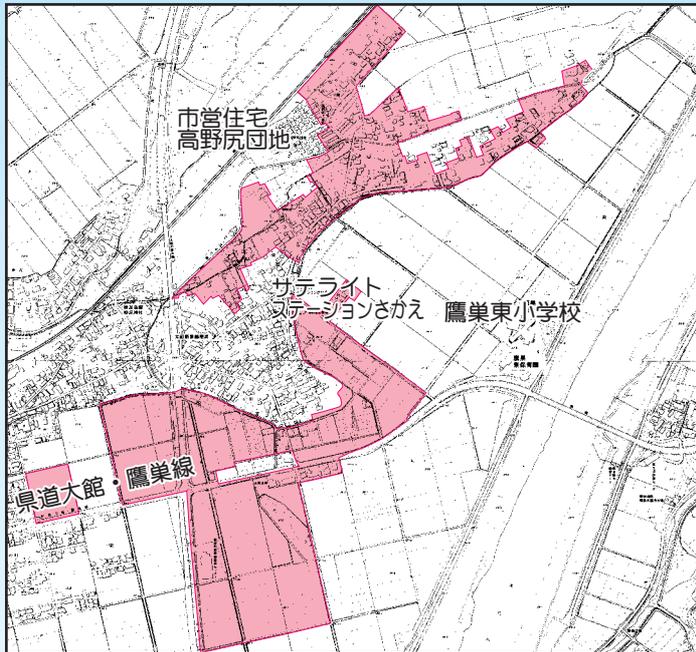
平成19年4月1日から、北秋田市大野台ハイランド体育館の管理について合川町特産品販売株式会社を指定管理者として施設の維持管理等の業務を行っていましたが、平成20年3月31日をもって指定を取り消したのでお知らせします。これから当分の間は、市による直営管理となります。

問合せ 合川支所産業建設課 ☎78-2115

供用開始 4月1日(火) から

# 下水道の使用区域が拡大されます

## ■鷹巣処理区



下水道の使用できる区域が広がります。

## ■鷹巣処理区

綴子字太田屋敷後、高野尻の各一部  
栄字知子内、悪戸、掛泥悪戸、沼敷、中綱、前綱、太田、太田新田の各一部、

## ■合川処理区

川井字オノ神の一部

## ■阿仁合処理区

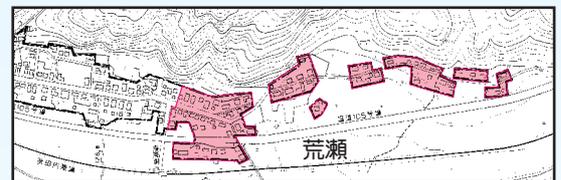
水無字大町、稲荷堂脇、湯口内  
荒瀬字段ノ上、桶ノ沢、中野  
吉田字町頭、上野道下、上ミ上野、下上野、上ミ堤岱、下モ堤岱、家ノ上の各一部が新たに加わりました。

一日も早い機会に下水道へ加入し、生活環境の改善・向上と公共用水域（河川等）の水質向上・保全にご協力をお願いします。

なお、市では、トイレの水洗化工事を助成するため、無利子の融資あっせん制度を設けています。希望される方は、排水設備工事の申込みをされる際に、指定工事店へその旨申し出てください。

既に供用開始された区域の皆さんは、水洗トイレへの改造は供用開始から3年以内となっていますので、速やかな下水道への加入をお願いします。

## ■阿仁合処理区



## コミュニティ助成事業で整備しました



写真上が輪転機（印刷機）

写真右上が資材倉庫

写真右下が災害用資機材



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

市では平成19年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成）により、一般コミュニティ助成事業で輪転機を4台、自主防災組織育成助成事業で地域安全安心ステーション資材倉庫、及び災害用資材一式を整備いたしました。  
この助成事業は、宝くじの収益を財源に、コミュニティの健全な発展を図ること、宝くじの普及広報を行うことを目的に、財団法人自治総合センターが行っているものです。